



もの忘れ外来



最近、おかしいな?と思ったら...

人は年齢を重ねると、健康な方でも加齢（老化）現象として「もの忘れ」がみられます。加齢（老化）が原因なのか、からだの病気が原因なのかを明らかにし、それぞれの方に合った対処方法を考えていく必要があります。しかし、早期発見のもの忘れでは、老化によるものか認知症によるものかを見分けることは非常に難しいです。「もの忘れ」を歳のせいだと見逃さず、進行して症状が悪化する前に早めに相談し、**早期診断・早期治療**をお薦めします。

早期の診断と治療が大切

準備ができる

早期診断で、症状が軽いうちに、本人や家族が病気と向き合い、話し合うことで、介護保険サービスの利用など今後の生活の備えをすることができます。



治療ができる

認知症は早期発見して正しく診断されることで適切な治療を受けられる病気です。早めに受診をして原因となっている病気の診断を受けることが大切です。

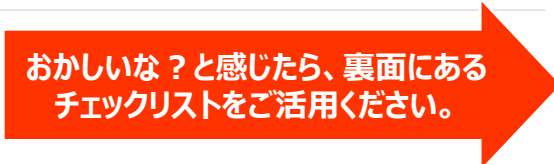


遅らせることができる

適切な治療を受けることによって、進行を遅らせることができます。また、早い段階より認知症をよく理解し、家族や周囲の人々が適切な対応をすることで進行を和らげることができます。

診察日 **毎週 水曜日**
9:00～12:00
(受付時間 8:00～11:30)
担当医師 **岡田 直** (おかだ ただし)

「もの忘れ」が気になる方は
お一人で悩まず、お気軽に
ご相談ください。



身近な人やご自身でチェックをしてみましょう

日常生活でこのような出来事がいくつか見られるときには、「もの忘れ外来」を受診することをお勧めします。**受診の際は、思い当たる項目（□）にチェックを入れて持参してください。**

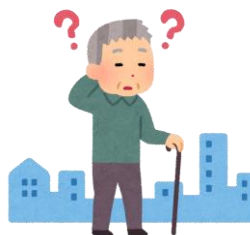
もの忘れがひどい

- 同じことを何回も言う、聞いてくる
- しまい忘れや置き忘れが多く、いつも探し物をしている
- 言われたことを聞いていないと言い張る



時間や場所がわからない

- 約束、予定の時間を間違える
- 慣れた場所で迷子になる、迷う



意欲がない

- 外出や他人との付き合いを嫌がる
- 一日中テレビばかりみている
- 今まで楽しみにしていた趣味に関心を示さない、しなくなった
- 口数が少なく、ぼーっとしていることが多い



怒りっぽい、人柄が変わった

- 些細なことですぐに怒り出すようになった
- 自分の失敗を他人の責任にする
- 他人を疑うことが多くなってきた



日常生活であれっと感じることが多くなった

- 同じ物を何回も買って来る
- 料理の味が濃くなってきた
- 新しく購入したレンジなどの使い方を覚えられない
- 季節に合った衣服の選択に戸惑う、手助けを求める
- 持ち物や約束ごとを何回も確認する



早期の診断・治療が大切です！